

2026 年 10 月 1 日
株式会社十八親和銀行
株式会社日本政策金融公庫 長崎支店
農林中央金庫 長崎支店

五島列島から「有機安納芋の産地」をつくる 国内有数規模の有機甘藷キュアリング貯蔵庫を整備し、 「Hotel Imo」で農業から観光へ ～十八親和銀行、日本政策金融公庫と農林中央金庫が協調支援～

株式会社十八親和銀行（取締役頭取 山川信彦、以下「十八親和銀行」）、株式会社日本政策金融公庫長崎支店（農林水産事業統轄 若林一成、以下「日本政策金融公庫」）、農林中央金庫長崎支店（支店長 坂部了一、以下「農林中央金庫」）は、長崎県五島市で有機甘藷（さつまいも）の生産・加工・販売を一貫して手掛ける株式会社アグリ・コーポレーション（代表取締役 佐藤義貴、以下「アグリ・コーポレーション」）に対し、日本政策金融公庫および農林中央金庫が生産規模拡大に向けた貯蔵庫の新設、十八親和銀行が宿泊事業におきまして、3 社が協調して融資を実行いたしましたのでお知らせいたします。

本事業は、有機安納芋の産地形成と生産規模拡大を見据え、温湿度管理によるキュアリング機能を備えた大規模貯蔵施設を整備するとともに、農業と食を観光へつなげ、地域雇用の創出や企業価値向上を図る新たな取り組みとして宿泊事業に参入し、宿泊施設「Hotel Imo」を開業いたします（9 月 10 日（木）予約開始）。

十八親和銀行、日本政策金融公庫並びに農林中央金庫は、今後も連携しながら、地域の発展・振興に取り組む農業者を支援してまいります。

1. アグリ・コーポレーションの概要

アグリ・コーポレーションは 2011 年（平成 23 年）設立。長崎県五島市を拠点に、農産物の生産・加工・販売を一貫して手掛けています。

五島市三井楽町周辺の約 47ha で、有機 JAS 認証の安納芋を生産。自社加工場では、乳幼児向け干し芋「おしゃぶー」をはじめ、甘藷（さつまいも）ペースト、パウダー、かんころなどを製造し、有機安納芋の高付加価値化に取り組んでいます。

農業施設の増強とホテル開業にとどまらず、「有機安納芋をつくる会社」から「有機安納芋の産地そのものをつくる会社」への進化を目指し、農業・加工・貯蔵・食・宿泊・体験・地域産品を有機的につなぐことで、五島に人を呼び込み、新たな消費と雇用を生み出す「農業を起点とした離島の産業づくり」に挑戦しています。

2. 投資の概要

○ キュアリング貯蔵施設を新設 品質の安定と安定供給を実現し、「産地ブランド」構築を加速

アグリ・コーポレーションは、甘藷（さつまいも）の生産規模拡大に伴い課題となっていた貯蔵能力の不足と品質管理体制の強化に対応するため、最新の温度・湿度管理機能を備えた大規模キュアリング貯蔵施設を新設しました。

収穫後の甘藷を適切な環境下で一定期間管理することで、表皮の傷を修復・保護し、腐敗を防ぎながら保存性と品質を高める体制を整備したもので、これにより貯蔵容量は従来の約 2 倍となる 1,000t 規模へ拡大しました。有機 JAS 認証の安納芋を中心に、国内でも類を見ない大規模なキュアリング貯蔵体制を構築することで、品質の安定化、廃棄ロスの削減、加工品の歩留まり向上、出荷時期の最適化、年間を通じた安定供給を実現します。

○ 宿泊・食・農業体験を一体化した「Hotel Imo」を開業 五島ならではの滞在価値を創出

アグリ・コーポレーションは、宿泊・飲食・体験を一体化した新たな事業として、宿泊施設「Hotel Imo」を開業し、地域雇用の創出と企業価値の向上、さらには五島の持続的な地域活性化を目指します。

全 15 室・最大 38 名を収容可能な施設で、うち 5 室は移住支援にもつなげる短中期滞在型客室として整備し、単なる宿泊にとどまらず農業法人の強みを活かし、食・農業体験・アクティビティ・買い物を組み合わせた、五島ならではの滞在体験を提供します。

〈キュアリング貯蔵庫〉



〈ホテル〉



【参考】融資概要

法人名	株式会社アグリ・コーポレーション	
代表者	代表取締役 佐藤 義貴	
事業概要	農産物（主に有機甘藷）の生産・加工・販売	
資金使途	キュアリング貯蔵庫建設資金	ホテル改修資金
融資金額	日本政策金融公庫 280 百万円 (農林中央金庫による受託対応)	十八親和銀行 80 百万円

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

十八親和銀行 ソリューション事業部（担当：松山） Tel：095-828-7959

日本政策金融公庫 長崎支店（担当：藤原） Tel：095-824-7526

農林中央金庫 長崎支店（担当：和田、島田） Tel：095-827-3122